

## 実務経験のある教員等による授業科目の一覧表 2024

サービス経営学部 健康福祉マネジメント学科

授業科目名	担当者	単位数	実務経験
高齢者福祉 (老人福祉論Ⅱ)	影山 優子	2	社会福祉法人聖ヨハネ会桜町特別養護老人ホーム、NPO法人ミニケアホームきみさんちにて高齢者支援を担当。実務経験をもとに高齢者の生活や制度等について理論と実践の融合を図っている。
社会福祉援助技術現場実習指導①	影山 優子	2	社会福祉法人日本肢体不自由児協会 心身障害児総合医療療育センター むらさき愛育園児童指導員、社会福祉法人睦月会 大田区立大田生活実習所生活支援員を担当。実務経験をもとに社会福祉士のソーシャルワークについて理論と実践の融合を図っている。
社会福祉援助技術現場実習指導②	影山 優子		社会福祉法人日本肢体不自由児協会 心身障害児総合医療療育センター むらさき愛育園児童指導員、社会福祉法人睦月会 大田区立大田生活実習所生活支援員を担当。実務経験をもとに社会福祉士のソーシャルワークについて理論と実践の融合を図っている。
社会福祉援助技術現場実習指導③	藤田 則貴		社会福祉法人マザアス 認知症高齢者グループホームおがわ の立ち上げ及び山梨県立富士見養護学校、山梨県立かえで養護学校に教諭として勤務。実務経験をもとに社会福祉士のソーシャルワークについて理論と実践の融合を図っている。
社会福祉援助技術論Ⅰ	藤田 則貴	2	社会福祉法人マザアス 認知症高齢者グループホームおがわ の立ち上げ及び山梨県立富士見養護学校、山梨県立かえで養護学校に教諭として勤務。実務経験をもとに社会福祉士のソーシャルワークについて理論と実践の融合を図っている。
社会福祉援助技術論Ⅱ	藤田 則貴	2	社会福祉法人マザアス 認知症高齢者グループホームおがわ の立ち上げ及び山梨県立富士見養護学校、山梨県立かえで養護学校に教諭として勤務。実務経験をもとに社会福祉士のソーシャルワークについて理論と実践の融合を図っている。
社会福祉援助技術論Ⅳ	藤田 則貴	2	社会福祉法人マザアス 認知症高齢者グループホームおがわ の立ち上げ及び山梨県立富士見養護学校、山梨県立かえで養護学校に教諭として勤務。実務経験をもとに社会福祉士のソーシャルワークについて理論と実践の融合を図っている。
フィットネス論	加藤 三彦	2	プロコーチとしての経験があり、実務経験をもとに身体教育学について理論と実践の融合を図っている。
コーチング論	加藤 三彦	2	プロコーチとしての経験があり、実務経験をもとにスポーツ科学、指導法(コーチング)について理論と実践の融合を図っている。
スポーツマネジメント論Ⅰ	加藤 三彦	2	プロコーチとしての経験があり、実務経験をもとに、スポーツ科学、スポーツマネジメントについて理論と実践の融合を図っている。
合計		16	

授業形態	開講学部	サービス経営学部		選択	2単位	講義	
	2年次	開講期	後期	ディスカッション	無	学外授業	無
授業科目（英名）	高齢者福祉（旧：老人福祉論Ⅱ）(Social Welfare for the ElderlyⅡ)						
担当教員名	影山 優子 (◎は科目責任者)						
<p>[ 授業の概要 ]          高齢者福祉を取り巻く社会的環境、歴史的背景、また介護保険制度をはじめとした様々な法制度、専門職の役割や家族支援の実際について体系的に学びます。</p> <p>[ 科目の位置付け（全学年を通しての関連科目） ]          この科目は、本学部のカリキュラム・ポリシー(3)、すなわち、社会福祉コースの実践的で柔軟な専門性を修得する科目として位置づけられます。高齢者を取り巻く様々な現状や諸問題、政策、高齢者の身体的、心理的特性等を学びます。少子高齢社会の到来が私たちの暮らしに与える影響について知ることは、現代社会を生きるための必須課題です。</p> <p>[ 到達目標 ]          (1) 高齢者の定義と特性を踏まえ、高齢者とその家族の生活とこれを取り巻く社会環境について理解する          (2) 高齢者福祉の歴史と高齢者観の変遷、制度の発展過程について理解する          (3) 高齢者に対する法制度と支援の仕組みについて理解する          (4) 高齢期における生活課題を踏まえて、社会福祉士としての適切な支援のあり方を理解する</p>							
回	授業計画			授業外学修 (事前学修・事後学修)		担当者	
1	ガイダンス 高齢者福祉の理念と歴史			事前学修(90分)：介護問題を扱った記事を探しまとめる 事後学修(90分)：授業で扱った課題から一つを選びレポートをまとめる		影山	
2	高齢社会の動向と高齢者の生活実態①			事前学修(90分)：自分の居住地の高齢化率、高齢者の生活環境を調べる 事後学修(90分)：授業の内容を踏まえて居住地の特徴や課題をまとめる		影山	
3	高齢社会の動向と高齢者の生活実態②			事前学修(90分)：8050問題について調べる 事後学修(90分)：介護者の離職問題について調べてまとめる		影山	
4	加齢による心身の変化と福祉・医療ニーズ①			事前学修(90分)：教科書47～56ページを読む 事後学修(90分)：介護予防の考え方について調べてまとめる		影山	
5	加齢による心身の変化と福祉・医療ニーズ②			事前学修(90分)：認知症について調べる 事後学修(90分)：高齢者介護における家族支援について自分の意見をまとめる		影山	
6	老人福祉法①			事前学修(90分)：老人福祉法を読む 事後学修(90分)：措置と契約の違いについてまとめる		影山	
7	老人福祉法②			事前学修(90分)：高齢者福祉領域における社会福祉士の役割について自分の考えをまとめる 事後学修(90分)：社会福祉士と連携する他職種を調べる		影山	
8	前半のまとめ			事前学修(90分)：老人福祉法と介護保険法の関係をまとめる 事後学修(90分)：前半の学びを振り返りレポートにまとめる		影山	
9	介護保険法①			事前学修(90分)：居住地の「介護保険の手引き」を入手し介護保険法の概要を理解する 事後学修(90分)：介護保険法の理念についてまとめる		影山	
10	介護保険法②			事前学修(90分)：居住地の介護保険料を調べその背景を分析する 事後学修(90分)：介護保険料の変遷について調べる		影山	
11	介護保険法③			事前学修(90分)：介護サービスの種類についてまとめる 事後学修(90分)：自分の住む自治体の地域密着型サービスの整備状況について調べまとめる		影山	
12	介護保険法④			事前学修(90分)：ケアマネジメントの実際について調べる 事後学修(90分)：介護人材の確保における今日的課題をまとめる		影山	
13	地域支援事業と地域包括ケア			事前学修(90分)：高齢者を支える家族のための支援やサービスについて調べる 事後学修(90分)：居住地の自治体における地域包括支援センターの数と活動内容を調べる		影山	

14	高齢者に関連するその他の法律・施策①	事前学修(90分)：高齢者虐待に関する最新の調査結果から傾向を把握する 事後学修(90分)：高齢者虐待の事例を調べその背景要因を分析する	影山
15	高齢者に関連するその他の法律・施策② 全体のまとめ	事前学修(90分)：高齢者の住まいや移動についての課題をまとめる 事後学修(90分)：高齢者雇用に関する先端の取り組み事例を調べる	影山
成績評価の方法と基準		学習意欲の把握を行うものとしてコメント票(10%)、課題・レポート(40%)、試験(50%)により総合的に評価します。	
履修上の留意点		社会福祉士受験資格指定科目です。社会福祉士を受験予定の学生は必ず履修する必要があります。 社会福祉士受験資格指定科目「高齢者福祉」に該当します。	
ディプロマ・ポリシーとの関連		本科目は、サービス経営学部ディプロマポリシーの(1)(2)と関連しています。特に高齢者に対する法制度と現代社会における生活課題の把握についての知識・理解の修得は重要です。	
教科書		新・社会福祉士シリーズ13「高齢者福祉」弘文堂(2021)	
参考書・参考資料		適宜提示・配布します	
学生との連絡方法		AAAを使います	
実務経験科目		実務経験科目に該当する。社会福祉法人聖ヨハネ会桜町特別養護老人ホーム、NPO法人ミニケアホームきみさんちにて高齢者支援を担当。実務経験をもとに高齢者の生活や制度等について理論と実践の融合を図っている。	

授業形態	開講学部	サービス経営学部		選択	2単位	講義・実習	
	2年次	開講期	後期	ディスカッション	有	学外授業	有
授業科目（英名）	社会福祉援助技術現場実習指導①( Preparation for Practical Training in Welfare Techniques )						
担当教員名	影山 優子 (◎は科目責任者)						
<p>〔 授業の概要 〕  社会福祉士国家資格取得に必要な現場実習に行くための準備として、知識や態度を学びます。相談援助に必要な知識と技術について具体的なかつ实际的に理解し、実習に対応できる力の修得を目指します。</p> <p>〔 科目の位置付け（全学年を通しての関連科目） 〕  この科目は、サービス経営学部のカリキュラム・ポリシー（3）、すなわち、社会福祉コースの実践的で柔軟な専門性を修得する科目として位置づけられます。社会福祉士が働く施設・機関を訪問し、社会福祉士の職場や職種を理解します。そして、実際の実習のイメージや、自分の社会福祉の関心領域と問題意識を明確にしていきます。</p> <p>〔 到達目標 〕  (1) 現場実践における社会福祉士の役割を説明することができる。  (2) 社会福祉施設の活動内容や地域社会における役割を説明することができる。  (3) 実習で学んだことを言語化（実習報告書、プレゼンテーション）することができる。  (4) 社会福祉士指定科目と関連付け、総合的かつ包括的な実践が説明できる。</p>							
回	授業計画			授業外学修 (事前学修・事後学修)		担当者	
1	オリエンテーション 社会福祉士実習に関する基本的知識と理解/ソーシャルワークと社会福祉士 ■資格取得の動機づけを明確にする、社会福祉士が活躍する場について確認する■			事前学修(90分)：シラバスに目を通しておく。 事後学修(90分)：今後のスケジュールを確認する。		影山優子	
2	「社会福祉援助技術現場実習」とは何か/目的と意義 ■実習生に求められる役割について考察する。■			事前学修(90分)：実習生に求められる役割について調べてくる 事後学修(90分)：実習中に実践したいことについて検討する		影山優子	
3	社会福祉援助技術現場実習における倫理と記録について			事前学修(90分)：記録の書き方、倫理について調べてくる 事後学修(90分)：自身の記録について、プラス面、マイナス面について検討する		影山優子	
4	事前学習と実習施設の理解①児童・高齢			事前学修(90分)：見学する施設の種別について調べる 事後学修(90分)：見学する実習施設の種別について調べる		影山優子	
5	事前学習と実習施設の理解②児童・高齢 実習目標の設定方法について			事前学修(90分)：見学する実習施設について調べる 事後学修(90分)：見学する実習施設の近接領域を検討する		影山優子	
6	実習目標の作成 ■先輩からのアドバイス/グループディスカッション■			事前学修(90分)：実習目標を作成してくる 事後学修(90分)：アドバイスを受けた内容について修正する		影山優子	
7	実習指導者からの講義 ■実際の実習場面から、実習生に求められる役割を理解する■			事前学修(90分)：実習指導者への質問事項を検討する 事後学修(90分)：見学実習に何が生かせるのか検討する		影山優子	
8	見学実習① - 1			事前学修(90分)：見学実習先での説明を踏まえて質問事項を考える。 事後学修(90分)：見学実習についてのレポートを作成する。		影山優子	
9	見学実習① - 2			事前学修(90分)：見学実習先での説明を踏まえて質問事項を考える。 事後学修(90分)：見学実習についてのレポートを作成する。		影山優子	
10	見学実習② - 1			事前学修(90分)：見学実習先での説明を踏まえて質問事項を考える。 事後学修(90分)：見学実習についてのレポートを作成する。		影山優子	
11	見学実習② - 2			事前学修(90分)：見学実習先での説明を踏まえて質問事項を考える。 事後学修(90分)：見学実習についてのレポートを作成する。		影山優子	
12	見学実習の振り返り・お礼状の書き方			事前学修(90分)：見学実習での気づきをまとめておく 事前学修(90分)：ソーシャルワーク実践についての理解をレポートにする		影山優子	
13	ソーシャルワーク実践の確認と実習Ⅰに向けた準備			事前学修(90分)：自身が関心のある分野について調べておく 事後学修(90分)：プレ実習先について調べる		影山優子	
14	実習Ⅰに向けた準備・事前学習・目標設定/プレゼンテーション			事前学修(90分)：プレゼンテーションの準備をする 事後学修(90分)：プレ実習の日程等について確認する		影山優子	

15	まとめ 実習報告会の準備	事前学修（90分）：見学実習で学んだことを振り返り、現場実習での課題を考える。 事後学修（90分）：実習報告会の役割分担について確認する。	影山優子
成績評価の方法と基準	社会福祉援助技術現場実習指導②、③を修了した段階で総合的に評価します。		
履修上の留意点	社会福祉士サブコース生の限定科目です。社会福祉援助技術現場実習指導①、②、③すべての履修によって、社会福祉士受験資格指定科目「ソーシャルワーク実習指導」に該当します。また、関連科目の「社会福祉援助技術現場実習」は、「社会福祉援助技術現場実習指導①、②、③」と併せて単位認定されます。欠席は一切認めません。授業の性質上、遅刻、途中退席、私語、課題取り組みへの不参加など他の受講生の迷惑や授業の進行を妨げるような行為については厳しく対応し、2、3年次での現場実習ができなくなる場合があります。また、実習報告会は、授業時間以外で設定する予定です。社会福祉援助技術現場実習指導①履修者は、報告会のスタッフとして行動します。その後、実習Ⅰに関する報告会や実習壮行会についても実施します。		
ディプロマ・ポリシーとの関連	本科目は、サービス経営学部ディプロマポリシーの(1)～(4)と関連しています。特に、実践が求められますので、社会福祉士指定科目と関連付けながら理解し、専門職としての姿勢で臨むことを求めます。		
教科書	必要に応じて随時資料を配布します。		
参考書・参考資料	必要に応じて授業内で紹介します。		
学生との連絡方法	メール、AAA上		
実務経験科目	実務経験科目に該当する。社会福祉法人日本肢体不自由児協会 心身障害児総合医療療育センター むらさき愛育園児童指導員、社会福祉法人睦月会 大田区立大田生活実習所生活支援員を担当。実務経験をもとに社会福祉士のソーシャルワークについて理論と実践の融合を図っている。		

授業形態	開講学部	サービス経営学部		選択	2単位	講義・実習	
	3年次	開講期	前期	ディスカッション	有	学外授業	有
授業科目（英名）	社会福祉援助技術現場実習指導②( Preparation for Practical Training in Welfare Techniques )						
担当教員名	影山 優子 (◎は科目責任者)						
[ 授業の概要 ] 社会福祉援助技術現場実習に向けて、実習先の決定から配属、準備、実習計画書の作成等の準備を行います。							
[ 科目の位置付け（全学年を通しての関連科目） ] この科目は、サービス経営学部のカリキュラム・ポリシー（3）、すなわち、社会福祉コースの実践的で柔軟な専門性を修得する科目として位置づけられます。「社会福祉援助技術現場実習」の事前指導の科目です。これまで学んだソーシャルワークにかかわる専門的技術や知識を総合的に活用しながら実習に臨めるよう準備を行います。							
[ 到達目標 ] (1) 現場実践における社会福祉士の役割を説明することができる。 (2) 社会福祉施設の活動内容や地域社会における役割を説明することができる。 (3) 実習で学んだことを言語化（実習報告書、プレゼンテーション）することができる。 (4) 社会福祉士指定科目と関連付け、総合的かつ包括的な実践が説明できる。 (5) 現場実習をとらえて、自身のキャリアデザインにつなげることができる。							
回	授業計画			授業外学修 (事前学修・事後学修)		担当者	
1	オリエンテーション 今後の予定・配属希望調査			事前学修（90分）：「実習で学びたいこと」についてレポート作成する。 事後学修（90分）：実習に向けての考えをまとめる。		影山優子	
2	配属面談 個人票（下書き）の作成			事前学修（90分）：配属希望調査書の記入をする。 事後学修（90分）：実習先について再度検討する。		影山優子	
3	配属面談 配属準備、確認テスト			事前学修（90分）：個人票を作成する。 事後学修（90分）：配属面談を踏まえて実習先について調べる。		影山優子	
4	配属先の決定			事前学修（90分）：実習の目的をまとめる。 事後学修（90分）：実習先について調べる。		影山優子	
5	個人票作成・提出			事前学修（90分）：個人票を作成する。 事後学修（90分）：実習先について調べる。		影山優子	
6	事前訪問のアポイント 配属先について相互報告			事前学修（90分）：配属先についてプレゼン資料を作成する。 事後学修（90分）：配属先へ訪問する。		影山優子	
7	配属先・配属分野に関する学習①			事前学修（90分）：実習計画書を作成する。 事後学修（90分）：実習計画書を修正する。		影山優子	
8	配属先・配属分野に関する学習②			事前学修（90分）：実習計画書を作成する。 事後学修（90分）：実習計画書を修正する。		影山優子	
9	配属先・配属分野に関する学習③			事前学修（90分）：実習計画書を作成する。 事後学修（90分）：実習計画書を修正する。		影山優子	
10	実習先の理解①			事前学修（90分）：実習計画書を作成する。 事後学修（90分）：実習計画書を修正する。		影山優子	
11	実習先の理解②			事前学修（90分）：実習計画書を作成する。 事後学修（90分）：実習計画書を修正する。		影山優子	
12	実習目標の報告			事前学修（90分）：実習目標の報告のためのプレゼン資料を作成する。 事後学修（90分）：実習計画書を修正する。		影山優子	
13	記録の書き方①			事前学修（90分）：実習における記録の意義についてまとめる。 事後学修（90分）：記録の書き直しをする。		影山優子	
14	記録の書き方②			事前学修（90分）：記録の模擬作成をする。 事後学修（90分）：記録の書き直しをする。		影山優子	
15	最終確認			事前学修（90分）：確認事項の点検をする。 事後学修（90分）：すべての書類を提出する。		影山優子	

成績評価の方法と基準	社会福祉援助技術現場実習指導③を修了した段階で総合的に評価します。
履修上の留意点	社会福祉士サブコース生の限定科目です。社会福祉援助技術現場実習指導①、②、③すべての履修によって、社会福祉士受験資格指定科目「ソーシャルワーク実習指導」に該当します。また、関連科目の社会福祉援助技術現場実習は、社会福祉援助技術現場実習指導①、②、③と併せて単位認定されます。欠席は一切認めません。授業の性質上、遅刻、途中退席、私語、課題取り組みへの不参加など他の受講生の迷惑や授業の進行を妨げるような行為については厳しく対応します。そのため、実習準備が不十分と判断される場合には、当該年度での現場実習を取りやめる場合があります。
ディプロマ・ポリシーとの関連	本科目は、サービス経営学部ディプロマポリシーの(1)～(4)と関連しています。特に、実践が求められますので、社会福祉士指定科目と関連付けながら理解し、専門職としての姿勢で臨むことを求めます。
教科書	必要に応じて随時資料を配布します。
参考書・参考資料	必要に応じて授業内で紹介します。
学生との連絡方法	メール、AAA上
実務経験科目	実務経験科目に該当する。社会福祉法人日本肢体不自由児協会 心身障害児総合医療療育センター むらさき愛育園児童指導員、社会福祉法人睦月会 大田区立大田生活実習所生活支援員を担当。実務経験をもとに社会福祉士のソーシャルワークについて理論と実践の融合を図っている。

授業形態	開講学部	サービス経営学部		選択	2単位	演習	
	3年次	開講期	後期	ディスカッション	有	学外授業	無
授業科目（英名）	社会福祉援助技術現場実習指導③（Preparation for Practical Training in Welfare Techniques）						
担当教員名	藤田則貴 (◎は科目責任者)						
<p>〔授業の概要〕 社会福祉の現場実習で得た貴重な知見をただの体験談で終わらせるのではなく、ソーシャルワーカーとして身につけるべき価値・知識・技術の再確認を行います。実習前に学んだこと、実習中に感じたこと、実習後に考察したことを、自分の言葉でまとめる過程で、社会福祉についての理解をより深め、今後の自己課題の発見に結びつけます。</p> <p>〔科目の位置付け（全学年を通しての関連科目）〕 この科目は、本学部のカリキュラム・ポリシー(3)、すなわち、社会福祉コースの実践的で柔軟な専門性を修得する科目として位置づけられます。社会福祉援助技術現場実習の事後指導の科目です。</p> <p>〔到達目標〕 (1)実習を通して学んだことを実習報告書等にまとめることができる。実習を通して学んだことについてプレゼンテーションを行うことができる。 (2)現場実践における社会福祉士の役割を説明することができる。社会福祉施設の活動内容や地域社会における役割を説明することができる。 (3)相談援助に関して講義や演習で学んだ内容と、実習での学びを統合し、論述することができる。</p>							
回	授業計画			授業外学修 (事前学修・事後学修)		担当者	
1	オリエンテーション			事前学修(90分)：授業全体の目的と到達目標を確認する 事後学修(90分)：実習記録を再読する		藤田則貴	
2	過年度資料の確認			事前学修(90分)：過年度の報告会資料を確認する 事後学修(90分)：報告書のアウトラインまとめる		藤田則貴	
3	実習報告①：概要と印象に残ったこと			事前学修(90分)：実習の概要と印象的なできごとを整理する 事後学修(90分)：報告書への記載内容を確認する		藤田則貴	
4	実習報告②：概要と印象に残ったこと			事前学修(90分)：実習の概要と印象的なできごとを整理する 事後学修(90分)：報告書への記載内容を確認する		藤田則貴	
5	実習報告③：概要と印象に残ったこと			事前学修(90分)：実習の概要と印象的なできごとを整理する 事後学修(90分)：報告書への記載内容を確認する		藤田則貴	
6	実習報告④：概要と印象に残ったこと			事前学修(90分)：実習の概要と印象的なできごとを整理する 事後学修(90分)：報告書への記載内容を確認する		藤田則貴	
7	報告書初稿の検討			事前学修(90分)：報告書初稿を作成する 事後学修(90分)：報告書初稿を修正する		藤田則貴	
8	実習報告⑤：達成度と自己覚知			事前学修(90分)：実習の達成度と自己覚知を整理する 事後学修(90分)：報告書への記載内容を確認する		藤田則貴	
9	実習報告⑥：達成度と自己覚知			事前学修(90分)：実習の達成度と自己覚知を整理する 事後学修(90分)：報告書への記載内容を確認する		藤田則貴	
10	実習報告⑦：達成度と自己覚知			事前学修(90分)：実習の達成度と自己覚知を整理する 事後学修(90分)：報告書への記載内容を確認する		藤田則貴	
11	実習報告⑧：達成度と自己覚知			事前学修(90分)：実習の達成度と自己覚知を整理する 事後学修(90分)：報告書への記載内容を確認する		藤田則貴	
12	報告書最終稿の検討			事前学修(90分)：最終稿を作成する 事後学修(90分)：最終稿を提出する		藤田則貴	
13	プレゼンテーションと質疑応答①			事前学修(90分)：実習報告会での口頭報告原稿を作成する 事後学修(90分)：実習報告会での口頭報告原稿を修正する		藤田則貴	
14	プレゼンテーションと質疑応答②			事前学修(90分)：実習報告会での口頭報告原稿を作成する 事後学修(90分)：実習報告会での口頭報告原稿を修正する		藤田則貴	
15	プレゼンテーションと質疑応答③			事前学修(90分)：実習報告会での口頭報告原稿を作成する 事後学修(90分)：実習報告会での口頭報告原稿を修正する		藤田則貴	
成績評価の方法と基準	実習指導全体、すなわち、社会福祉援助技術現場実習指導①(30%)、社会福祉援助技術現場実習指導②(30%)、社会福祉援助技術現場実習指導③(40%)で総合的に評価します。評価の対象は、出席状況・演習への参加度、課題への取り組み、必要書類や課題の提出状況、実習報告会での発表(発表準備を含む)等です。						
履修上の留意点	社会福祉士サブコース生の限定科目です。社会福祉援助技術現場実習指導①②③全ての履修によって、社会福祉士						

	受験資格指定科目「ソーシャルワーク実習指導」に該当します。また、関連科目の社会福祉援助技術現場実習は、社会福祉援助技術現場実習指導①②③と併せて単位認定されます。 実習報告会は、授業時限以外で設定する予定です。
ディプロマ・ポリシーとの関連	本科目は、サービス経営学部ディプロマ・ポリシーの(1)と(2)と(3)と(4)と関連しています。
教科書	一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟『最新 社会福祉士養成講座8 ソーシャルワーク実習指導 ソーシャルワーク実習【社会専門】』中央法規出版)
参考書・参考資料	適宜授業時に紹介します。
学生との連絡方法	メール、AAA
実務経験科目	実務経験科目に該当する。社会福祉法人マザアス 認知症高齢者グループホームおがわ の立ち上げ及び山梨県立富士見養護学校、山梨県立かえで養護学校に教諭として勤務。 実務経験をもとに社会福祉士のソーシャルワークについて理論と実践の融合を図っている。

授業形態	開講学部	サービス経営学部	選択	2単位	講義	
	2年次	開講期 前期	ディスカッション	有	学外授業	無
授業科目 (英名)	社会福祉援助技術論 I ( Techniques in Social Works I )					
担当教員名	藤田則貴 (◎は科目責任者)					
[ 授業の概要 ] ソーシャルワーク専門職である社会福祉士がどのような役割があるのか理解した上で、ソーシャルワークを実践する構成要素や関係構造について理解します。また、シームレスな実践を行うための援助展開過程を段階的に追いながら、それぞれの目的や意義について言語化できるようにすることを目指します。						
[ 科目の位置付け (全学年を通しての関連科目) ] この科目は、サービス経営学部のカリキュラム・ポリシー (3)、すなわち、社会福祉コースの実践的で柔軟な専門性を修得する科目として位置づけられます。相談援助 (ソーシャルワーク) では、ケースワークやグループワークといった方法を細分化でとらえるのではなく、ソーシャルワークを統一したものとして理論をとらえています。						
[ 到達目標 ] (1) 社会福祉士の価値を基盤としながら、援助展開過程等の専門的な知識について説明できるようになる。 (2) クライアントを中心とした援助展開過程を理解する。 (3) グループでの討議の際、仲間同士で助け合うことで他者との価値を共有することができる。						
回	授業計画	授業外学修 (事前学修・事後学修)			担当者	
1	オリエンテーション「ソーシャルワークの理論と方法」の位置づけ/社会福祉士の役割について ◆社会福祉士の活躍する場や資格の重要性について説明することができる。	事前学修 (90分) : 社会福祉士の役割について調べる 事後学修 (90分) : 事前学修と比較し、自身がどのような理解をしたか確認する。			藤田則貴	
2	ソーシャルワークとは/ソーシャルワークの定義や具体的な事例を学ぶ ◆「ソーシャルワーク専門職のグローバル定義」をもとに、ソーシャルワークとは何か、機能や固有の視点について説明することができる。	事前学修 (90分) : テキスト「ソーシャルワークにおける援助関係の形成」を予習する。 事後学修 (90分) : ソーシャルワークについて、福祉について学んだことがない地域住民に向け説明すると仮定した文章を作成する。			藤田則貴	
3	ソーシャルワークにおける援助関係/自己覚知・信頼関係の構築 ◆価値とは何なのか理解する。また、「社会福祉士の倫理綱領」をもとにした、自己理解・他者理解について説明することができる。	事前学修 (90分) : テキスト「ソーシャルワークにおける援助関係の形成」を予習する。 事後学修 (90分) : ボランティア等の経験を通し、自身の価値について振り返る。			藤田則貴	
4	総合的かつ包括的な支援におけるソーシャルワークの実際 ◆各ケースにおいて、複雑化・多様化したニーズとは何かについて説明することができる	事前学修 (90分) : テキスト「総合的かつ包括的な支援におけるソーシャルワークの実際」を予習する。 事後学修 (90分) : クライアントの背景について言語化する。			藤田則貴	
5	人と環境の交互作用をシステムとして理解する① ◆人と環境の交互作用について理解する。	事前学修 (90分) : テキスト「人と環境の交互作用に関する理論とソーシャルワーク」を予習する。 事後学修 (90分) : 「環境」とは何かについて検討する。			藤田則貴	
6	人と環境の交互作用をシステムとして理解する② ◆ミクロ・メゾ・マクロレベルについて理解する。	事前学修 (90分) : テキスト「人と環境の交互作用に関する理論とソーシャルワーク」を予習する。 事後学修 (90分) : 「ミクロ・メゾ・マクロレベル」とは何かについて言語化する。			藤田則貴	
7	ソーシャルワークの構造/ニーズに関する理解① ◆ソーシャルワークの展開過程とおし、ニーズのとらえ方について理解する。	事前学修 (90分) : ニーズについて調べ、説明する。 事後学修 (90分) : 事例をとおり、ニーズについて明らかにする。			藤田則貴	
8	ソーシャルワークの構造/ニーズに関する理解② ◆事例をとおして、デマンドとニーズの関係性、フェルト・ニーズ、ノーマティブ・ニーズ、リアル・ニーズについて理解する。	事前学修 (90分) : 第7回の授業を振り返る。 事後学修 (90分) : 授業でとらえたニーズについて再度考察する。			藤田則貴	
9	ソーシャルワークの過程について理解する① ◆全体の概要について確認し、ケース発見からアセスメントについて理解する。	事前学修 (90分) : テキスト「ソーシャルワークの過程」に関する内容を予習する。 事後学修 (90分) : 授業で確認した内容について、次回の授業につなげられるよう復習する。			藤田則貴	
10	ソーシャルワークの過程について理解する② ◆プランニングについて理解する。	事前学修 (90分) : テキスト「ソーシャルワークの過程」に関する内容を予習する。 事後学修 (90分) : 授業で確認した内容について、次回の授業につなげられるよう復習する。			藤田則貴	
11	ソーシャルワークの過程について理解する③ ◆プランニングについて理解する。	事前学修 (90分) : テキスト「ソーシャルワークの過程」に関する内容を予習する。 事後学修 (90分) : 授業で確認した内容について、次回の授業につなげられるよう復習する。			藤田則貴	

12	ソーシャルワークの過程について理解する④ ◆モニタリング・終結・アフターケアについて理解する。	事前学修(90分)：テキスト「ソーシャルワークの過程」に関する内容を予習する。 事後学修(90分)：授業で確認した内容について、次回の授業につなげられるよう復習する。	藤田則貴
13	ケアマネジメントについて理解する	事前学修(90分)：テキスト「ケアマネジメント」に関する内容を予習する。 事後学修(90分)：ソーシャルワークの過程とつなげ復習する。	藤田則貴
14	グループを活用した支援について理解する	事前学修(90分)：テキスト「グループを活用した支援」に関する内容を予習する。 事後学修(90分)：ソーシャルワークの過程とつなげ復習する。	藤田則貴
15	まとめ/前期で学んだ内容に関する問題を解く	事前学修(90分)：前期で学んだことを振り返る。 事後学修(90分)：後期で学ぶ内容について予習する。	藤田則貴
成績評価の方法と基準	受講態度及び確認レポート内容(40%)、課題レポート(60%)により、総合的に評価します。		
履修上の留意点	社会福祉士サブコース生の限定科目です。社会福祉援助技術論Ⅰ・Ⅱの履修によって、社会福祉士受験資格指定科目「ソーシャルワークの理論と方法」に該当します。		
ディプロマ・ポリシーとの関連	本科目は、サービス経営学部ディプロマポリシーの(1)～(4)と関連しています。特に、社会福祉を学ぶ最初の段階であるため、ソーシャルワーカーの価値を基盤としながら、価値・知識・技術を結び付けて理解することを目的とします。		
教科書	一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟『最新 社会福祉士養成講座6 ソーシャルワークの理論と方法 [社会専門]』中央法規出版) 一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟『最新 社会福祉士養成講座 精神保健福祉士養成講座12 ソーシャルワークの理論と方法 [共通科目]』中央法規出版)		
参考書・参考資料	宮田和明ら(2007)『社会福祉専門職論』中央法規出版 上野谷加代子(2020)『共生社会創造におけるソーシャルワークの役割』ミネルヴァ書房 川村隆彦(2011)『ソーシャルワーカーの力を高める理論・アプローチ』中央法規出版 大谷京子・田中和彦(2018)『失敗ポイントから学ぶPSWのソーシャルワークアセスメントスキル』中央法規出版		
学生との連絡方法	メール、AAA上		
実務経験科目	実務経験科目に該当する。社会福祉法人マザアス 認知症高齢者グループホームおがわ の立ち上げ及び山梨県立富士見養護学校、山梨県立かえで養護学校に教諭として勤務。 実務経験をもとに社会福祉士のソーシャルワークについて理論と実践の融合を図っている。		

授業形態	開講学部	サービス経営学部		選択	2単位	講義	
	2年次	開講期	後期	ディスカッション	有	学外授業	無
授業科目 (英名)	社会福祉援助技術論Ⅱ (Techniques in Social Works II)						
担当教員名	藤田則貴 (◎は科目責任者)						
[ 授業の概要 ] ソーシャルワーク専門職である社会福祉士がどのような役割があるのか理解した上で、ソーシャルワークを実践する構成要素や関係構造について理解します。特に、面接場面における理解や交渉、プレゼンテーション等の場面で実践できるよう理解します。							
[ 科目の位置付け (全学年を通しての関連科目) ] この科目は、サービス経営学部のカリキュラム・ポリシー (3)、すなわち、社会福祉コースの実践的で柔軟な専門性を修得する科目として位置づけられます。相談援助 (ソーシャルワーク) では、ケースワークやグループワークといった方法を細分化でとらえるのではなく、ソーシャルワークを統一したものとして理論をとらえていきます。							
[ 到達目標 ] (1) 面接場面における基本的な知識が説明でき、実践につなげることができる。 (2) クライアントにかかわる際の基本的な姿勢を身につけることができる。 (3) 交渉・プレゼンテーションの重要性を理解することができる。							
回	授業計画			授業外学修 (事前学修・事後学修)		担当者	
1	オリエンテーション/後期授業内容の確認・前期で学習した内容の復習 ◆後期で学ぶ内容について確認する。			事前学修 (90分) : 前期で学んだことを復習する。 事後学修 (90分) : 内容を復習する。		藤田則貴	
2	ソーシャルワークの面接① ◆普段の相談場面と専門職における相談場面の違いを理解し、自身のコミュニケーション実践を確認する。			事前学修 (90分) : テキスト「ソーシャルワーク面接」を予習する。 事後学修 (90分) : 自身のコミュニケーション実践場面を振り返る。		藤田則貴	
3	ソーシャルワークの面接② ◆DVDの事例をとおり、パステティックの7原則に基づいたインテーク場面について理解する。			事前学修 (90分) : テキスト「ソーシャルワーク面接」を予習する。 事後学修 (90分) : 自身のコミュニケーション実践場面を振り返る。		藤田則貴	
4	ソーシャルワークの面接③ ◆DVDの事例をとおり、共感・受容等について理解する。また、文書や口頭等の契約について理解する。			事前学修 (90分) : テキスト「ソーシャルワーク面接」を予習する。 事後学修 (90分) : 面接技法が実践できるよう復習する。		藤田則貴	
5	カンファレンスに関する理解 ◆会議の目的や種類等について理解する。			事前学修 (90分) : テキスト「カンファレンス」を予習する。 事後学修 (90分) : 自身の立場を理解し、会議における役割を言語化する。		藤田則貴	
6	相談援助のための記録① ◆記録の意義、目的を理解し、倫理的な配慮ができるようになる。			事前学修 (90分) : テキスト「ソーシャルワークの記録」を予習する。 事後学修 (90分) : 具体的な倫理的な配慮について確認する。		藤田則貴	
7	相談援助のための記録② ◆実際に記録をとり、スーパービジョンにも活用できる。			事前学修 (90分) : 自身の実践場面を振り返る。 事後学修 (90分) : スーパービジョンで活用した内容を確認する。		藤田則貴	
8	相談援助のためのアセスメント技術Ⅱ/ジェノグラム・エコマップ① ◆事例を読み解き、どのような課題があるのかディスカッションする。			事前学修 (90分) : アセスメントの実践について学習する。 事後学修 (90分) : ディスカッションした内容について振り返る。		藤田則貴	
9	相談援助のためのアセスメント技術Ⅱ/ジェノグラム・エコマップ② ◆ジェノグラム・エコマップを作成することができるようになり、アセスメントに活用できる。			事前学修 (90分) : ジェノグラムやエコマップについて調べてくる。 事後学修 (90分) : 自身にかかわるジェノグラム・エコマップを作成する。		藤田則貴	
10	スーパービジョンとコンサルテーション ◆スーパービジョンの実際について理解する。			事前学修 (90分) : テキスト「スーパービジョンとコンサルテーション」を予習する。 事後学修 (90分) : 「スーパービジョン」について言語化する。		藤田則貴	
11	スーパービジョンとコンサルテーション ◆コンサルテーションについて理解する。			事前学修 (90分) : テキスト「スーパービジョンとコンサルテーション」を予習する。 事後学修 (90分) : 「コンサルテーション」について言語化する。		藤田則貴	
12	交渉・プレゼンテーションにおける技法 ◆ソーシャルワーカーが交渉を行う目的や技法について理解する。			事前学修 (90分) : テキスト「」を予習する。 事後学修 (90分) : SWが行う交渉場面を調べる		藤田則貴	

13	プレゼンテーションするための準備を行う① ◆他者に伝えるための工夫を行い、実践に向けた準備を行う。	事前学修(90分)：プレゼンテーションの意義を振り返る 事後学修(90分)：これまで学んできたことを記録にまとめる。	藤田則貴
14	プレゼンテーションするための準備を行う② ◆他者に伝えるための工夫を行い、実践に向けた準備を行う。	事前学修(90分)：前回の準備の続きを行う。 事後学修(90分)：これまで学んできたことを記録にまとめる。	藤田則貴
15	まとめ/前期で学んだ内容に関する問題を解く	事前学修(90分)：前期で学んだことを振り返る。 事後学修(90分)：後期で学ぶ内容について予習する。	藤田則貴
成績評価の方法と基準		受講態度及び確認レポート内容(40%)、課題レポート(60%)により、総合的に評価します。	
履修上の留意点		社会福祉士サブコース生の限定科目です。社会福祉援助技術論Ⅰ・Ⅱの履修によって、社会福祉士受験資格指定科目「ソーシャルワークの理論と方法」に該当します。	
ディプロマ・ポリシーとの関連		本科目は、サービス経営学部ディプロマポリシーの(1)～(4)と関連しています。特に、ソーシャルワーカーの価値を基盤としながら、面接場面や交渉といった実践の理解を目的とします。	
教科書		『最新 社会福祉士養成講座6 ソーシャルワークの理論と方法 [社会専門]』中央法規出版) 『最新 社会福祉士養成講座 精神保健福祉士養成講座12 ソーシャルワークの理論と方法 [共通科目]』中央法規出版)	
参考書・参考資料		宮田和明ら(2007)『社会福祉専門職論』中央法規出版 上野谷加代子(2020)『共生社会創造におけるソーシャルワークの役割』ミネルヴァ書房 川村隆彦(2011)『ソーシャルワーカーの力量を高める理論・アプローチ』中央法規出版 大谷京子・田中和彦(2018)『失敗ポイントから学ぶPSWのソーシャルワークアセスメントスキル』中央法規出版	
学生との連絡方法		メール、AAAIにて連絡	
実務経験科目		実務経験科目に該当する。社会福祉法人マザアス 認知症高齢者グループホームおがわ の立ち上げ及び山梨県立富士見養護学校、山梨県立かえで養護学校に教諭として勤務。 実務経験をもとに社会福祉士のソーシャルワークについて理論と実践の融合を図っている。	

授業形態	開講学部	サービス経営学部		選択	2単位	講義	
	3年次	開講期	後期	ディスカッション	有	学外授業	無
授業科目（英名）	社会福祉援助技術論Ⅳ（Techniques in Social Works Ⅳ）						
担当教員名	藤田則貴 (◎は科目責任者)						
<p>〔授業の概要〕          ソーシャルワークの実践における、各アプローチ技法をケースに落とし込み実践できる力へつなげていくこと、さらには事例検討をおとし、改めて対象とするクライアントの理解につなげることを目指します。</p> <p>〔科目の位置付け（全学年を通しての関連科目）〕          この科目は、サービス経営学部のカリキュラム・ポリシー（3）、すなわち、社会福祉コースの実践的で柔軟な専門性を修得する科目として位置づけられます。ソーシャルワークでは、ケースワークやグループワークといった方法を細分化でとらえるのではなく、ソーシャルワークを統一したものとして理論をとらえていきます。</p> <p>〔到達目標〕          (1) 各アプローチの実践を説明することができる。          (2) 総合的かつ包括的な相談援助を実践できる力を涵養する。          (3) 人権尊重、権利擁護、自立支援について理解し、実際の行動できる態度を身につける          (4) 専門的援助技術として概念化し、理論化し、体系立てていくことができる能力を身につける</p>							
回	授業計画			授業外学修 (事前学修・事後学修)		担当者	
1	オリエンテーション/後期授業内容の確認・前期で学習した内容の復習 ◆後期で学ぶ内容についての確認と、前期で学んだ内容の問題を解く			事前学修（90分）：前期で学んだことを復習する。 事後学修（90分）：国家試験を意識し、復習する。		藤田則貴	
2	さまざまな実践モデルとアプローチⅡ① 【心理社会、機能的、問題解決、課題中心、危。機介入、行動変容アプローチ】 ◆事例を検討し、発表原稿を作成する			事前学修（90分）：テキスト「アプローチ」の内容を予習する。 事後学修（90分）：発表までの役割について準備する。		藤田則貴	
3	さまざまな実践モデルとアプローチⅡ② 【心理社会、機能的、問題解決、課題中心、危機介入、行動変容アプローチ】 ◆事例を検討し、発表原稿を作成する。			事前学修（90分）：発表までの役割について準備する。 事後学修（90分）：発表準備をする。		藤田則貴	
4	さまざまな実践モデルとアプローチⅡ③ 【心理社会、機能的、問題解決、課題中心、危機介入、行動変容アプローチ】 ◆事例を発表する。			事前学修（90分）：発表準備をする。 事後学修（90分）：各アプローチの内容について復習する。		藤田則貴	
5	さまざまな実践モデルとアプローチⅢ① 【エンパワメント、ナラティブ、認知、解決志向アプローチ】 ◆事例を検討し、発表原稿を作成する。			事前学修（90分）：テキスト第8章を予習する。 事後学修（90分）：発表までの役割について準備する。		藤田則貴	
6	さまざまな実践モデルとアプローチⅢ② 【エンパワメント、ナラティブ、認知、解決志向アプローチ】 ◆事例を発表する。			事前学修（90分）：発表準備をする。 事後学修（90分）：各アプローチの内容について復習する。		藤田則貴	
7	さまざまな実践モデルとアプローチⅠ～Ⅲ① ◆各アプローチの年号を作成し、時代背景を理解する。			事前学修（90分）：これまで学んだアプローチの内容を復習する。 事後学修（90分）：各アプローチについて説明できるようになる。		藤田則貴	
8	さまざまな実践モデルとアプローチⅠ～Ⅲ② ◆各アプローチの年号を作成し、時代背景を理解する。			事前学修（90分）：これまで学んだアプローチの内容を復習する。 事後学修（90分）：各アプローチについて説明できるようになる。		藤田則貴	
9	さまざまな実践モデルとアプローチⅠ～Ⅲ③ ◆各アプローチの年号を作成し、時代背景を理解する。			事前学修（90分）：これまで学んだアプローチの内容を復習する。 事後学修（90分）：各アプローチについて説明できるようになる。		藤田則貴	
10	事例検討① ◆事例研究について目的・意義を理解し、事例を分析する力を身につける。			事前学修（90分）：テキスト「事例分析、事例検討、事例研究」を予習する。 事後学修（90分）：多職種連携の実践を説明できる。		藤田則貴	
11	事例検討② ◆事例をとおして、ケースの分析を行う。			事前学修（90分）：SWの価値・知識・技術を復習する。 事後学修（90分）：検討した事例について振り返る。		藤田則貴	
12	事例検討③ ◆事例をとおして、ケースの分析を行う。			事前学修（90分）：SWの価値・知識・技術を復習する。 事後学修（90分）：検討した事例について振り返る。		藤田則貴	
13	事例検討④ ◆事例をとおして、ケースの分析を行う。			事前学修（90分）：SWの価値・知識・技術を復習する。 事後学修（90分）：検討した事例について振り返る。		藤田則貴	
14	事例検討⑤ ◆事例をとおして、ケースの分析を行う。			事前学修（90分）：SWの価値・知識・技術を復習する。 事後学修（90分）：検討した事例について振り返る。		藤田則貴	

15	まとめ/後期で学んだ内容に関する問題を解く	事前学修(90分)：後期で学んだことを振り返る。 事後学修(90分)：本科目と他の社会福祉士の指定科目との関連について言語化する。	藤田則貴
成績評価の方法と基準	受講態度及び確認レポート内容(40%)、課題レポート(60%)により、総合的に評価します。		
履修上の留意点	社会福祉士サブコース生の限定科目です。社会福祉援助技術論Ⅲ・Ⅳの履修によって、社会福祉士受験資格指定科目「ソーシャルワークの理論と方法(専門)」に該当します。		
ディプロマ・ポリシーとの関連	本科目は、サービス経営学部ディプロマポリシーの(1)～(4)と関連しています。特に、社会福祉を学ぶ最初の段階であるため、ソーシャルワーカーの価値を基盤としながら、価値・知識・技術を結び付けて理解することを目的とします。		
教科書	一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟 『最新 社会福祉士養成講座6 ソーシャルワークの理論と方法 [社会専門]』中央法規出版) 『最新 社会福祉士養成講座 精神保健福祉士養成講座12 ソーシャルワークの理論と方法 [共通科目]』中央法規出版)		
参考書・参考資料	宮田和明ら(2007)『社会福祉専門職論』中央法規出版 上野谷加代子(2020)『共生社会創造におけるソーシャルワークの役割』ミネルヴァ書房 川村隆彦(2011)『ソーシャルワーカーの力を高める理論・アプローチ』中央法規出版 大谷京子・田中和彦(2018)『失敗ポイントから学ぶPSWのソーシャルワークアセスメントスキル』中央法規出版		
学生との連絡方法	メール、AAA上		
実務経験科目	実務経験科目に該当する。社会福祉法人マザアス 認知症高齢者グループホームおがわ の立ち上げ及び山梨県立富士見養護学校、山梨県立かえで養護学校に教諭として勤務。 実務経験をもとに社会福祉士のソーシャルワークについて理論と実践の融合を図っている。		

授業形態	開講学部	サービス経営学部	選択	2単位	講義・演習	
	2年次	開講期 前期	ディスカッション	有	学外授業	無
授業科目（英名）	フィットネス論（Fitness Theory）					
担当教員名	加藤 三彦 (◎は科目責任者)					
<p>〔授業の概要〕            身体の機能・体力について学びます。あわせて、体力の保持・増進のための各種トレーニングの進め方や種類についても学修し、各種トレーニングの内容を、視覚教材を使って説明し、実際に体を動かし、デモンストレーション・発表する場合があります。また、科学的エビデンスに基づくエクササイズである「スクエアステップ」も行います。トレーニングの「リスクマネジメント」として、応急処置や体力測定の評価の仕方なども学んでいきます。</p> <p>〔科目の位置付け（全学年を通しての関連科目）〕            この科目は、本学部のカリキュラム・ポリシー（3）、すなわち、健康サービスコースの実践的で柔軟な専門性を修得する科目として位置づけられます。日本は世界上位の長寿国ですが、生活習慣病の増加、低年齢化、社会の高齢化による国民医療費の増加などが社会問題となっています。困って、特に「フィットネス」による健康の回復・維持・増進は、個人にとっても社会にとっても重要なことです。ここでは、健康や体力の保持増進を目的として行う各種「トレーニング」に関する理解を深めるとともに、社会問題である体力低下の回復策について学び「身体的教養」を身に付けることがねらいです。</p> <p>〔到達目標〕            (1) スポーツにおける各種トレーニングの基本理論について理解を深め、スポーツにおけるリスクマネジメントとして、応急手当、心肺蘇生法、体力測定と評価等についての知識を修得することができる。            (2) 各種トレーニング(エアロビクス運動・筋力トレーニング・ストレッチング等)の技法を修得・理解し、適切に活用することができる。            (3) セルフマネジメント・セルフコントロールといった自立的要素を理解し、健康的で有意義な学生生活を送っていくために活用できる。</p>						
回	授業計画	授業外学修 (事前学修・事後学修)			担当者	
1	ガイダンス・評価の方法 ・授業の進め方、授業全体のアウトラインを説明します。 ・詳細シラバスを配布し、評価の方法について説明します。	事前学修（90分）：シラバス中の用語・概念の確認・理解 事後学修（90分）：新体力テストのデータを調べ、自己の体力評価をまとめる			加藤三彦	
2	体力とは ・事前配布資料、体力の概念について解説します。 ・体力の概念をもとに、自己の体力評価について考察します。	事前学修（90分）：体力の概念について調べる 事後学修（90分）：体力の種類と特性の確認・理解			加藤三彦	
3	トレーニングの進め方 ・事前配布資料、各種トレーニングの進め方について解説します。 ・各種トレーニングについて、トレーニング処方を考察します。	事前学修（90分）：トレーニングの原理・原則について調べる 事後学修（90分）：トレーニング処方の確認・理解			加藤三彦	
4	トレーニングの種類 ・事前配布資料、様々なトレーニングについて解説します。 ・各種トレーニングを、体力要素の分類に照らし合わせて考察します。	事前学修（90分）：形態別トレーニングについて調べまとめる 事後学修（90分）：体力要素で分類されたトレーニングの確認・理解			加藤三彦	
5	エアロビクス運動 ・エアロビクス運動について説明します。 ・演習として、グループ発表を行います。 ・グループワークを行い、トレーニング効果を考察します。	事前学修（90分）：エアロビクス運動について調べる 事後学修（90分）：エアロビクス運動の目的・方法・効果の確認・理解			加藤三彦	
6	筋力トレーニング ・筋力トレーニングについて説明します。 ・演習として、グループ発表を行います。 ・グループワークを行い、トレーニング効果を考察します。	事前学修（90分）：筋力トレーニングについて調べる 事後学修（90分）：筋力トレーニングの目的・方法・効果の確認・理解			加藤三彦	
7	ストレッチング ・ストレッチングについて説明します。 ・演習として、グループ発表を行います。 ・グループワークを行い、トレーニング効果を考察します。	事前学修（90分）：ストレッチングについて調べる 事後学修（90分）：ストレッチングの目的・方法・効果の確認・理解			加藤三彦	
8	トレーニングプログラムの作成（レポート提出） ・体力、トレーニングの概念を理解し、トレーニングプログラムシートを作成します。	事前学修（90分）：レポート作成のための資料収集・原稿作成 事後学修（90分）：トレーニングプログラム内容の確認・理解			加藤三彦	
9	コーディネーショントレーニング ・事前配布資料、コーディネーショントレーニングについて解説します。 ・動画視聴を行い、グループ発表を行います。 ・年代別、競技別に適した、コーディネーショントレーニングについて考察します。	事前学修（90分）：コーディネーショントレーニングについて調べる 事後学修（90分）：コーディネーショントレーニングの実施時期・効果の確認・理解			加藤三彦	
10	スクエアステップ① ・事前配布資料、スクエアステップについて説明します。 ・演習として、ステップ基本編をグループで実践します。 ・グループワークを行い、ステップ基本編の目的・効果を考察します。	事前学修（90分）：スクエアステップ基本編資料を読む 事後学修（90分）：スクエアステップ基本編の確認・理解			加藤三彦	
11	スクエアステップ② ・スクエアステップ基本編の復習を行います。 ・演習として、ステップチャレンジ編をグループで実践します。 ・グループワークを行い、スクエアステップの目的・方法・効果を考察します。	事前学修（90分）：スクエアステップチャレンジ編資料を読む 事後学修（90分）：スクエアステップチャレンジ編の確認・理解			加藤三彦	
12	トレーニングのリスクマネジメント① テーマ：応急処置、熱中症対策 ・事前配布資料、応急処置、熱中症対策について解説します。 ・グループワークを行い、テーマについて考察します。	事前学修（90分）：スポーツの応急手当について調べる 事後学修（90分）：応急手当の意義・方法・効果の確認・理解			加藤三彦	

13	トレーニングのリスクマネジメント② テーマ：心肺蘇生 ・事前配布資料、心肺蘇生法、AEDの使い方について解説します。 ・動画視聴を行い、グループ発表を行います。 ・グループワークを行い、テーマについて考察します。	事前学修（90分）：心肺蘇生法について調べる 事後学修（90分）：心肺蘇生法の原理・手順の確認・理解	加藤三彦
14	トレーニングのリスクマネジメント③ テーマ：体力評価 ・事前配布資料、体力の測定と評価について解説します。 ・授業全体の学びをもとに、自己の体力評価について考察します。	事前学修（90分）：新体力テストについて調べる 事後学修（90分）：体力の測定と評価の確認・理解	加藤三彦
15	総括（レポート提出） ・体力、トレーニングの概念、自己の体力評価をもとに、総括レポートを作成します。 ・授業の振り返り、まとめとして、授業内試験を行います。	事前学修（90分）：総括レポートの作成 事後学修（90分）：トレーニングプログラムの確認・実行	加藤三彦
成績評価の方法と基準	コメント票・小テスト（40%）、課題・レポート（20%）、試験（40%）により、総合的に評価します。		
履修上の留意点	本科目は、健康福祉マネジメント学科専門科目に位置づけられています。1年次に「日常生活と健康」を受講した履修者は、配布資料を再度見直して健康・運動についての復習をしておくことが大切です。		
ディプロマ・ポリシーとの関連	本科目は、サービス経営学部ディプロマポリシーの(1)～(3)と関連しています。特に(1)知識・理解：体系的な学修や多様な学修を通して、サービス経営学を構成する諸科学の学問内容及び方法を理解することが重要です。		
教科書	使用しません。授業用資料を適宜配布します。		
参考書・参考資料	『公認スポーツ指導者養成テキスト』 公益財団法人日本スポーツ協会 『健康・フィットネスと生涯スポーツ』 大修館書店 他		
学生との連絡方法	AAAを活用します。くわしくは授業の初回時に連絡・説明します。		
実務経験科目	実務経験科目に該当する。プロコーチとしての経験があり、実務経験をもとに身体教育学について理論と実践の融合を図っている。		

授業形態	開講学部	サービス経営学部		選択	2単位	講義・演習	
	2年次	開講期	後期	ディスカッション	有	学外授業	無
授業科目（英名）	コーチング論（Coaching Theory）						
担当教員名	加藤 三彦 (◎は科目責任者)						
<p>〔授業の概要〕            コーチングについての考え方や基本的手法について学びます。            場面によっては、ロールプレイ（役割演技）、デモンストレーション（模範演技）、グループワークなどを行います。セルフコーチング（自分で自分をコーチすること）が講義のメインストリームになります。            まとめて、それぞれの立場から「コーチングステップアップシート」を作成していただきます。</p> <p>〔科目の位置付け（全学年を通しての関連科目）〕            この科目は、本学部のカリキュラム・ポリシー(3)、すなわち、健康サービスコースの実践的で柔軟な専門性を修得する科目として位置づけられます。            自己決定や自己解決といった自己実現をサポートしていくための手法として「コーチング」は存在しています。            スポーツ界が発祥の地であるコーチングは、今やさまざまな分野で注目されています。なぜならば、経営資源の中で最も重要視しなければならないのは「人」であり、その認識から資源を育て有効に活用するための体系化されたスキルがコーチングだからです。            ここでは、スポーツ界から端を発したコーチングの手法をベースに、幅広い分野に対応可能なコーチングの考え方や手法を学ぶこととします。</p> <p>〔到達目標〕            (1)個人やチームの能力を引き出し、最大限に伸ばす手法である「コーチング」の考え方・知識を説明できる。            (2)指導・模範などの経験を通して、プレゼンテーションの技法を修得・理解し、適切に表現することができる。            (3)セルフマネジメント・セルフコーチングといった自立的要素を理解し、健康的で有意義な学生生活を送っていくために活用できる。</p>							
回	授業計画			授業外学修 (事前学修・事後学修)		担当者	
1	ガイダンス・評価の方法 ・授業の進め方と授業全体のアウトラインを説明します。 ・詳細シラバスを配布し、評価の方法について説明します。			事前学修（90分）：シラバス中の用語・概念の確認・理解 事後学修（90分）：「セルフコーチングできる学生になる」の資料を読み、要点をまとめる		加藤三彦	
2	コーチングとは① テーマ：考え方 ・事前配布資料、基本的なコーチングの考え方について解説します。 ・これから必要とされるコーチング手法について考察します。			事前学修（90分）：「コーチングとは」の資料を読む 事後学修（90分）：コーチングの考え方の確認・理解		加藤三彦	
3	コーチングとは② テーマ：分類 ・事前配布資料、コーチングの分類について解説します。 ・グループワークを通して、分類別コーチングを考察します。			事前学修（90分）：「さまざまなコーチング」の資料を読む 事後学修（90分）：コーチングの分類の確認・理解		加藤三彦	
4	コーチングの基本① テーマ：PDCAサイクル・OODAサイクル ・事前配布資料、PDCAサイクル、OODAサイクルについて解説します。 ・自己のPDCAサイクルチェックシートについて考察します。			事前学修（90分）：PDCAサイクルについて調べる 事後学修（90分）：チェックシートの目的・方法・効果の確認・理解		加藤三彦	
5	コーチングの基本② テーマ：GROWモデル・自問自答 ・事前配布資料、GROWモデル・自問自答について解説します。 ・自己のGROWモデルを活用した意志決定シートについて考察します。			事前学修（90分）：GROWモデルについて調べる 事後学修（90分）：意志決定シートの目的・方法・効果の確認・理解		加藤三彦	
6	ティーチングとコーチング ・事前配布資料、ティーチングとコーチングについて解説します。 ・グループワークを通して、ティーチングとコーチングの違い、関係性について考察します。			事前学修（90分）：「ティーチングとコーチング」の資料を読む 事後学修（90分）：ティーチングとコーチングの使い分けの確認・理解		加藤三彦	
7	コミュニケーションスキル ・事前配布資料、コーチングに有益なコミュニケーションスキルについて解説します。 ・ロールプレイ（役割演技）を通して、コミュニケーションスキルについて考察します。			事前学修（90分）：「コミュニケーション技法」の資料を読む 事後学修（90分）：コミュニケーションのテクニック・スキル・マインドについての確認・理解		加藤三彦	
8	セルフコーチング（レポート提出） ・セルフコーチングとして「コーチングステップアップシート」を作成します。			事前学修（90分）：レポート作成のための資料収集・原稿作成 事後学修（90分）：自己のチェックシート、意志決定・自問自答シートの確認・理解		加藤三彦	
9	グループコーチング ・事前配布資料、グループコーチングについて解説します。 ・グループワークを通して、グループコーチングについて考察します。			事前学修（90分）：「グループコーチングの必要性」の資料を読む 事後学修（90分）：グループコーチングの目的・方法・効果の確認・理解		加藤三彦	
10	コーチングのコアスキル① テーマ：質問・傾聴・直観 ・事前配布資料、コーチングスキル（質問・傾聴・直観）について解説します。 ・ロールプレイ（役割演技）を通して、コーチングスキル（質問・傾聴・直観）について考察します。			事前学修（90分）：「質問・傾聴・直観について」の資料を読む 事後学修（90分）：質問・傾聴・直観の方法・効果の確認・理解		加藤三彦	
11	コーチングのコアスキル② テーマ：管理・確認 ・事前配布資料、コーチングスキル（管理・確認）について解説します。 ・ロールプレイ（役割演技）を通して、コーチングスキル（管理・確認）について考察します。			事前学修（90分）：「管理・確認について」の資料を読む 事後学修（90分）：管理・確認の方法・効果の確認・理解		加藤三彦	
12	関係性からのコーチング事例① テーマ：学生と教員の関係 ・事前配布資料、自己向上に必要なことについて解説します。 ・自己向上に必要なものについて、学生と教員の関係性から考察します。			事前学修（90分）：参考文献、「自己向上に必要なもの」の資料を読む 事後学修（90分）：学生と教員の関係性の確認・理解		加藤三彦	

13	関係性からのコーチング事例② テーマ：選手と指導者の関係、モチベーションマネジメント ・事前配布資料、自己向上のためのキーワード、モチベーションマネジメントについて解説します。 ・内発的動機づけ(モチベーション)について考察します。	事前学修(90分)：参考文献、「自己向上のためのキーワード」の資料を読む 事後学修(90分)：選手と指導者の関係性の確認・理解	加藤三彦
14	コーチング学に必要な分野 ・事前配布資料、セルフマネジメント、セルフコーチングについて解説します。 ・自己向上に必要な、セルフマネジメント、セルフコーチングについて考察します。	事前学修(90分)：「セルフマネジメントとセルフコーチング」の資料を読む 事後学修(90分)：コーチングに必要な内容の確認・理解	加藤三彦
15	総括(レポート提出) ・授業の振り返りをし、コーチング総括レポートを作成します。 ・授業の振り返り、まとめとして、授業内試験を実施します。	事前学修(90分)：総括レポートの作成 事後学修(90分)：コーチングステップアップシートの確認・実行	加藤三彦
成績評価の方法と基準	コメント票・小テスト(40%)、課題・レポート(20%)、試験(40%)により、総合的に評価します。		
履修上の留意点	本科目は、健康福祉マネジメント学科専門科目に位置づけられています。事前準備として、自らの興味・関心のある分野(スポーツ・福祉・医療・ビジネスなど)のコーチング本を何冊か読んでから受講してください。		
ディプロマ・ポリシーとの関連	本科目は、サービス経営学部ディプロマポリシーの(1)・(2)・(3)と関連しています。特に(1)知識・理解：体系的な学修や多様な学修を通して、サービス経営学を構成する諸科学の学問内容及び方法を理解することが重要です。		
教科書	使用しません。授業用資料を適宜配布します。		
参考書・参考資料	『公認スポーツ指導者養成テキスト』 公益財団法人日本スポーツ協会 『努力が結果につながらない人に気づいてほしいこと』 新潮社 『前進力-自分と組織を強くする73のヒント-』 新潮社 必要に応じて文献を紹介します。		
学生との連絡方法	授業の初回時に連絡・説明、及びトリプルエー(AAA)を活用します。		
実務経験科目	実務経験科目に該当する。プロコーチとしての経験があり、実務経験をもとにスポーツ科学、指導法(コーチング)について理論と実践の融合を図っている。		

授業形態	開講学部	サービス経営学部		選択	2単位	講義	
	3年次	開講期	前期	ディスカッション	有	学外授業	無
授業科目 (英名)	スポーツマネジメント論Ⅰ (Sports ManagementⅠ)						
担当教員名	加藤 三彦 (◎は科目責任者)						
<p>〔授業の概要〕 健康領域を含むスポーツビジネスは、成長産業の1つとして世の中が認めつつあります。本科目では、スポーツ産業に関連する基礎知識の修得に努め、スポーツ市場のメカニズムに関する理解を深めることをねらいとします。</p> <p>〔科目の位置付け(全学年を通しての関連科目)〕 この科目は、本学部のカリキュラム・ポリシー (3)、すなわち、健康サービスコースの実践的で柔軟な専門性を修得する科目として位置づけられます。 スポーツマネジメント論Ⅰは、基礎、基本編として捉えています。スポーツ産業に関連した基礎知識や基本的な考え方を学んでいきます。後期に開講する「スポーツマネジメント論Ⅱ」も合わせて受講していただきたいと思います。 また、「サービス・ラーニング(スポーツマネジメント)」を既に受講した学生にとっては、その演習で経験したプロジェクトをさらに裏付ける体系的な学びとなります。</p> <p>〔到達目標〕 (1) スポーツとは何か、マネジメントとは何か、について説明できる。 (2) スポーツ組織の仕事、スポーツ市場のメカニズムについて説明できる。 (3) 実践・体験を通して、多様なスポーツ場面やスポーツイベントへの関心をひろげ、セルフマネジメント・セルフコーチングできる態度を身に付け、今後に活用できる。</p>							
回	授業計画	授業外学修 (事前学修・事後学修)			担当者		
1	ガイダンス・評価の方法 ・授業の進め方と授業全体のアウトラインを説明します。 ・詳細シラバスを配布し、評価の方法について説明します。	事前学修(90分)：シラバス中の用語・概念の確認・理解 事後学修(90分)：「フェアプレイという考え方」の資料を読み、要点をまとめる			加藤三彦		
2	スポーツとは何か ・事前配布資料、スポーツの現状と意義について解説します。 ・スポーツのこれからの在り方について考察します。	事前学修(90分)：「スポーツとは」の資料を読む 事後学修(90分)：講義内容、「スポーツとは」の資料の確認・理解			加藤三彦		
3	マネジメントとは何か ・事前配布資料、マネジメントの基本概念について解説します。 ・マネジメントについて多様な角度から考察します。	事前学修(90分)：「マネジメントとは」の資料を読む 事後学修(90分)：講義内容、「マネジメントとは」の資料の確認・理解			加藤三彦		
4	スポーツマネジメントとは何か ・事前配布資料、スポーツマネジメントの基本概念について解説します。 ・スポーツマネジメントについて、ビジネス、マーケティング、オペレーションの側面から考察します。	事前学修(90分)：「スポーツマネジメントとは」の資料を読む 事後学修(90分)：講義内容、「スポーツマネジメントとは」の資料の確認・理解			加藤三彦		
5	スポーツ文化の違いとマネジメントタイプ ・事前配布資料、スポーツ文化について解説します。 ・動画視聴を行い、グループでスポーツ文化とマネジメントタイプの違いを考察します。	事前学修(90分)：「マネジメントタイプ」の資料を読む 事後学修(90分)：講義内容、「マネジメントタイプ」の資料の確認・理解			加藤三彦		
6	スポーツイノベーション ・事前配布資料、現代社会で起きているスポーツイノベーションについて解説します。 ・動画視聴を行い、グループ発表を行います。 ・グループワークを行い、これからのスポーツ界におけるイノベーションを考察します。	事前学修(90分)：「イノベーション活動」の資料を読む 事後学修(90分)：講義内容、「イノベーション活動」の資料の確認・理解			加藤三彦		
7	スポーツマネジメントとネットワーク ・事前配布資料、スポーツマネジメントにおけるネットワーク機能の大切さについて説明します。 ・セルフマネジメントとして、自己のネットワーク機能を考察します。	事前学修(90分)：「スポーツと行政」の資料を読む 事後学修(90分)：講義内容、「スポーツと行政」の資料の確認・理解			加藤三彦		
8	セルフマネジメント・ネットワーク(中間テスト・レポート提出) ・セルフマネジメントとして、自己ネットワークのレポートを作成します。 ・スポーツマネジメントの概要、スポーツイノベーション等についての簡易テストを実施します。	事前学修(90分)：レポート作成のための資料収集・原稿作成 事後学修(90分)：自己チェックシート、自己ネットワーク分野の確認・理解			加藤三彦		
9	スポーツビジネス テーマ：スポーツ資源を活かす ・事前配布資料、スポーツビジネスについて解説します。 ・動画視聴を行い、グループ発表を行います。 ・グループワークを行い、テーマについて考察します。	事前学修(90分)：「スポーツビジネス」の資料を読む 事後学修(90分)：講義内容、「スポーツビジネス」の資料の確認・理解			加藤三彦		
10	スポーツマーケティング テーマ：スポーツサービスを供給する ・事前配布資料、スポーツマーケティングについて解説します。 ・動画視聴を行い、グループ発表を行います。 ・グループワークを行い、テーマについて考察します。	事前学修(90分)：「スポーツマーケティング」の資料を読む 事後学修(90分)：講義内容、「スポーツマーケティング」の資料の確認・理解			加藤三彦		
11	スポーツオペレーション テーマ：スポーツ活動をつくる ・事前配布資料、スポーツオペレーションについて解説します。 ・動画視聴を行い、グループ発表を行います。 ・グループワークを行い、テーマについて考察します。	事前学修(90分)：「スポーツオペレーション」の資料を読む 事後学修(90分)：講義内容、「スポーツオペレーション」の資料の確認・理解			加藤三彦		
12	スポーツ市場のメカニズム① テーマ：生産者と消費者 ・事前配布資料、スポーツ市場における生産者と消費者の関係について説明します。 ・グループワークを行い、テーマについて考察します。	事前学修(90分)：「スポーツ市場に含まれる人びと」の資料を読む 事後学修(90分)：講義内容、「スポーツ市場に含まれる人びと」の資料の確認・理解			加藤三彦		

13	スポーツ市場のメカニズム② テーマ：購買プロセス ・事前配布資料、スポーツ市場における購買プロセスについて説明します。 ・グループワークを行い、テーマについて考察します。	事前学修(90分)：「スポーツ購買行動」の資料を読む 事後学修(90分)：講義内容、「スポーツ購買行動」の資料の確認・理解	加藤三彦
14	スポーツ市場のメカニズム③ テーマ：消費心理とブランド ・事前配布資料、スポーツ市場における消費者心理、ブランド志向について説明します。 ・グループワークを行い、テーマについて考察します。	事前学修(90分)：「スポーツへのこだわり」の資料を読む 事後学修(90分)：講義内容、「スポーツへのこだわり」の資料の確認・理解	加藤三彦
15	総括(レポート提出) ・授業の振り返りをし、スポーツマネジメント総括レポートを作成します。 ・授業の振り返り、まとめとして、授業内試験を実施します。	事前学修(90分)：総括レポートの作成 事後学修(90分)：自己チェック(PDCAサイクル)シート、意志決定(GROWモデル)シートを活用・実行	加藤三彦
成績評価の方法と基準	コメント票・小テスト(40%)、課題・レポート(20%)、試験(40%)により、総合的に評価します。		
履修上の留意点	本科目は、健康福祉マネジメント学科専門科目に位置づけられています。事前準備として、興味のあるスポーツ報道(新聞・テレビ・インターネットなど)から情報収集し、スポーツビジネスの仕組みや成り立ち、マネジメントを自分の視点から解読できる習慣を付けてください。		
ディプロマ・ポリシーとの関連	本科目は、サービス経営学部ディプロマポリシーの(1)、(3)と関連しています。特に(1)知識・理解：体系的な学修や多様な学修を通して、サービス経営学を構成する諸科学の学問内容及び方法を理解することが重要です。		
教科書	使用しません。授業用資料を適宜配布します。		
参考書・参考資料	『図解 スポーツマネジメント』 大修館書店 『新しいスポーツマネジメント』 大修館書店 『基本 スポーツマネジメント』 大修館書店 さらに必要に応じて文献等を指示します。		
学生との連絡方法	授業の初回時に連絡・説明、及びAAAを活用します。		
実務経験科目	実務経験科目に該当する。プロコーチとしての経験があり、実務経験をもとに、スポーツ科学、スポーツマネジメントについて理論と実践の融合を図っている。		